

不適合情報

2022年3月23日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	6号機	非常用ディーゼル発電機(A)の24時間連続運転試験を実施していたところ、発電機軸受部から潤滑油が漏れしていることを確認した。運転を停止し、公設消防へ一般回線にて連絡。発電機の停止により油の漏れは停止し、漏れ量は1リットル未満と推定。拭き取りを実施済み。当該事象の原因を調査。なお、漏れした油の外部への流出はなく、環境への影響はなし。 【2022年3月18日公表済み】 https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2021/2022031801.pdf	2022/03/17	G II

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	非常用ディーゼル発電機(A)の点検において、空気タンクへの圧縮空気充填のため空気圧縮機(A-1)を起動したところ、油ドレン受けに圧縮空気の連続排出を確認した。調査の結果、本体付属の凝結水等を排出する電磁弁にシートパスを確認した。当該電磁弁を交換。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2022/03/17	
2	5号機	燃料プール冷却浄化系保持ポンプ(A) 出入口差圧計に指示固着を確認した。当該差圧計を交換。	2022/03/17	
3	5号機	非常用ディーゼル発電機(B)排気管点検時、伸縮継手サポートに位置ずれを確認した。当該サポートの位置を修正。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2022/03/17	
4	6号機	非常用ディーゼル発電機(A)の定例試験において、機関入口と機関出口の冷却水温度が逆転していることを確認した。調査の結果、機関出口の温度指示計に計器精度の逸脱を確認し、調整できないことを確認した。機関出口温度計を交換。なお、計器精度の逸脱による定例試験への影響評価を行い、問題ないことを確認済み。	2022/03/16	
5	7号機	交流出力無停電電源装置(7B)故障警報発生後のリセット操作において、再故障検出ユニット内のリレーに動作不良を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/03/16	